

市立小学校の紹介

(生徒数・学級数は、令和6年5月1日現在)

学校紹介の内容

<教育目標>
<研究主題>
<重点教科等>
<特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
(2) 取組内容
(3) 成果
など

草加小学校

創立年月日 明治5年5月15日
学級数 25学級 校長 谷口 慎一
児童数 687人 教頭 樫尾 良輝



<教育目標>
考える子 思いやりのある子 たくましい子
<研究主題>
自分を大切な存在だと思える児童・生徒の育成
～一人ひとりの考えや活動のよさを認め合い、
表現力を育む教育活動の展開を通して～
<重点教科等>
幼保小中を一貫した教育
<特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
未来へはばたけやきつ子 ～夢を育む草加小学校～
(2) 取組内容
①教科等の指導
・他者理解を行うために、話を聞く児童を育成する。
・ICT機器を活用する能力を一層育成する。
②生徒指導・教育相談
・いじめ・不登校対策に全力で取り組む。
・管理職、保護者、関係機関との積極的な連携を大切にする。
③学校行事・教育活動全般
・「我がふるさと草加小」を実感させる。
・一人ひとりのよさを見つけ、褒め、鍛え、伸ばす。
(3) 成果
○基礎学力の定着
○児童の体力向上 (体力テスト結果続伸)
○道徳学習の充実化 (家庭と学校が一体となった豊かな心の育成)
○児童が夢 (目標) をもって学習できるよう、教職員が熱心に
取り組んでいる。

高砂小学校

創立年月日 昭和29年4月1日
学級数 26学級 校長 河野 健
児童数 756人 教頭 吉田 佳恭



<教育目標>
あかるく かしく たくましく
<研究主題>
自ら問題意識をもち、共に学び合い、主体的に学ぶ授業の創造
～友達との考えにふれ、算数科の楽しさを感じることができる児童の
育成～
<重点教科等>
(1) 幼保小中を一貫した教育
(2) 算数科
<特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
笑顔・やさしさ・パワーあふれる学校
(2) 取組内容
①学力向上
・算数科を中心とした校内研修の充実
・教員同士による授業の見合い (授業参観DAYの実施)
②交流活動の推進
・定期的な交流 (近隣保育園等、瀬崎中学校)
・交流給食 親子学校見学会等
③健康・体力の維持・増進
・すくすく委員会 (学校保健・安全委員会) の実施
・さわやかタイムの実施 (なわとび・朝マラソン)
④読書活動の推進
・図書ボランティアによる読み聞かせ、本の貸出し、環境整備
・年間読書冊数多読者への表彰
・学校図書館内の表示・掲示物の充実
(3) 成果
○子どもたちの頑張りを認める機会が増えたことで、子どもたちが
自信をもって取り組むことができた。
○中学校区内の学校、園等の連携強化を図ることができた。
○教員の指導力向上につなげることができた。

新田小学校

創立年月日 明治6年4月26日
学級数 16学級 校長 嶋田 弘之
生徒数 390人 教頭 小野 敦史



<教育目標>
よく学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子
<研究主題>
児童の「なぜ?」「できた!」「もっと知りたい!」を高める
～ 学びがつながる授業の「輪・和・環」～
<重点教科等>
総合的な学習の時間等
<特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
生き生き 元気 ともに伸び育つ 新田っ子
(2) 取組内容
①幼保小中一貫した教育課程の編成
・架け橋プログラムの基盤づくり
・教科横断的な教育課程の実践
②主体的・対話的で深い学びになる実践
・新しい学力観・授業観に立った授業
・図書館教育の充実
③教育的ニーズの対応
・特別支援教育に関する理解促進
・教育相談の充実
④家庭・地域との連携
・学校運営へ必要な支援に関する協議
・健康教育の充実
⑤子どもと向き合う時間の確保
・学校行事の精選
・学校行事の運営の工夫
(3) 成果
○児童の思いや願いを生かすことで、「探究心・共生心・自律心」
の高まりにつなげている。
○HPやメールシステム等を活用し、地域や保護者と情報を共有
しながら、学校の取り組みを行っている。
○「主体的・対話的」で深い学びを実現した授業を展開すること
で、児童の学びを充実させることができています。
○読書に意欲的に取り組む児童が増えている。

谷塚小学校

創立年月日 明治6年1月25日
学級数 23学級 校長 菅野 光三
生徒数 635人 教頭 藍原 正明



- <教育目標>
やさしく つよく かしく
- <研究主題>
共に学び合い 認め合い 高め合う 子どもの育成
～自己肯定感・自己有用感の育成を柱として～
- <重点教科等>
国語
- <特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
ふるさと ふれあい 谷塚小
- (2) 取組内容
- ①「コミュニケーション能力の育成」を中心とした授業研究
 - ②放課後学習等による学力向上の取組
 - ③複合施設としての利点を活かした教育活動の推進
・施設の活用（クラブ活動・学校行事）
・地域人材の活用（世代間交流・茶道教室等）
 - ④地域・商店街との連携
・町会への協力「七夕かざり」、祭りのパトロール等
・図書ボランティアによる読み聞かせ、学校図書館の環境整備
 - ⑤「8が付く日は谷塚の日」のあいさつ運動
・代表委員と谷塚中学校生徒会、青少年育成推進委員による
 - ⑥リーパーによる学校と家庭の連携
・家庭からの欠席連絡、家庭への連絡に「リーパー」を活用
- (3) 成果
- 元氣な挨拶を交わし、学校大好きな児童が増加。
 - 家庭・地域力を生かした特色ある教育活動の充実。
 - ICTの積極的な活用による授業力の向上。

栄小学校

創立年月日 昭和38年4月1日
学級数 24学級 校長 村田 隆一
生徒数 633人 教頭 佐々木 和寿



- <教育目標>
よく考える子 思いやりのある子 ねばり強い子 体をきたえる子
- <研究主題>
「互いに学び合い、認め合い、高め合う子どもの育成」
- <重点教科等>
幼保小中を一貫した教育
- <特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
一人ひとりを大切に、さわやかで、活気あふれ、それぞれの笑顔が
かがやく学校
- (2) 取組内容
- ①学級・学年経営の充実
・魅力ある学級づくり ・常に一歩前進を目指した学級・学年経営
・学校経営方針を踏まえた教育実践の充実
 - ②学習指導の充実
・研修体制の充実 ・魅力ある授業の充実 ・読書活動の推進
・家庭学習の充実
 - ③豊かな心を育む指導の充実
・道徳教育の充実 ・人権教育の推進 ・特別活動の充実
・「いのちの大切さ」を実感する教育の充実 ・幼保小中の連携
 - ④健康な体づくりの推進
・体力向上の推進 ・感染症防止対策の徹底
・健康の保持増進に係る指導の充実
 - ⑤生徒指導の充実
・積極的・組織的な生徒指導の推進
・いじめの撲滅・解消、不登校の解消 ・教育相談の充実
 - ⑥開かれた学校づくりの推進
・地域・家庭との連携の強化 ・コミュニティースクールの充実
・幼保小中一貫教育の推進 ・積極的な情報発信
 - ⑦特別支援教育の推進
・特別支援教育の充実 ・交流教育の充実 ・関係諸機関との連携
- (3) 成果
- 幼保小中を一貫した教育の推進により、児童の自己肯定感を高めたり自己有用感を育んだりする教育を実践することで、児童の個性を大切に、一人ひとりを大切に教育を実践することができている。
 - 学校運営協議会や平成塾等との連携が充実し、地域に開かれた学校づくりを実現することができている。

川柳小学校

創立年月日 明治6年1月15日
学級数 22学級 校長 渡辺 真一
生徒数 531人 教頭 長谷川 淳



- <教育目標>
かしこく なかよく たくましく
- <研究主題>
学ぶ喜びを味わわせる国語科授業の創造
～ 考えの形成を重視した文学的な文章の指導 ～
- <重点教科等>
国語科
- <特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
子どもたち一人ひとりを大切に、笑顔と夢あふれる川柳小
- (2) 取組内容
- ①校内課題研修の推進による教職員の授業力向上
 - ②全校業前運動による体力向上（朝マラソン、朝なわとび）
 - ③家庭学習手引きの活用による家庭学習の充実
 - ④児童・教職員が主体的に考え行動できる安全計画の構築
 - ⑤異学年交流活動の充実による自己有用感等の育成
（川っ子友だち班遊び、一年生を迎える会等）
 - ⑥地域の幼稚園、保育園との授業参観及び交流給食による幼保小連携の充実
 - ⑦学校応援団による教育活動支援体制の充実
（読み聞かせ、下校時の見守り、ミシン学習支援等）
 - ⑧学校運営協議会制度による学校教育の活性化
- (3) 成果
- 校内研修の推進による教職員の授業力の向上
 - 異学年交流及び主体的な学びの充実による自己肯定感・自己有用感の向上

瀬崎小学校

創立年月日 昭和42年4月1日
学級数 21学級 校長 柳田 加代
児童数 530人 教頭 蘇武 敏行



- <教育目標>
心豊かで たくましい子
- <研究主題>
確かな学力と豊かな心を育成し、たくましく生きる児童生徒の育成
～学びと心を結ぶ9ヶ年の継続指導を通して
聞いて 考え 伝え合う～
- <重点教科等>
総合的な学習の時間・生活科
- <特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
まなびいっぱい たくましさいっぱい やさしさいっぱい
- (2) 取組内容
- ①探究的な学習を通してコミュニケーション力やつながりを尊重する態度の育成
 - ②ホールスクールアプローチによるE S Dの推進
 - ③家庭・地域との連携協力
- (3) 成果
- 探究的な学習の実践により、主体的・対話的で深い学びの実践
 - SDGs浸透による「誰一人取り残さない教育」の推進
 - 地域の方々とのふれあい推進

西町小学校

創立年月日 昭和42年4月1日
学級数 24学級 校長 鈴木 輝子
生徒数 616人 教頭 佐々木 紀剛



- <教育目標>
よく考え 工夫する子 たくましく ねばり強い子
心豊かで 思いやりのある子
- <研究主題>
自分を大切な存在だと思える児童・生徒の育成
～一人ひとりの考えや活動のよさを認め合い、
表現力を育む教育活動の展開を通して～
- <重点教科等>
(1) 幼保小中を一貫した教育の推進
(2) 「新しい時代に必要とされる資質や能力」の育成
(3) ICTの活用
- <特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
感動いっぱい 夢いっぱい みんな生き生き 輝け西町
(2) 取組内容
①標準カリキュラムを活用した15年間の学びの確立
②草加中学校区の15歳の姿を見据えた教育活動の推進
③「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業改善
④読書活動の推進
⑤プログラミング教育の推進
⑥外国語科・外国語活動の充実
⑦デジタル教科書等、ICTの積極的・効果的な活用
⑧ネットモラル教育の充実
⑨GIGAスクール構想の具現化
(3) 成果
○自己肯定感、自己有用感、他者理解等の育成に向けた指導方法の工夫・改善に取り組むことができた。
○外国語科・外国語活動、ICTの活用等、「新しい時代に必要とされる資質や能力」の育成に向けた授業改善に努めた。

新里小学校

創立年月日 昭和45年4月1日
学級数 23学級 校長 赤坂 佳美
児童数 633人 教頭 瀧澤 史広



- <教育目標>
かしこく なかよく たくましく
- <研究主題>
自ら学び 心豊かに たくましく生きる児童・生徒の育成
～「わかる・できる」学びと「ともに楽しい」学びの創造～
- <重点教科等>
国語科・算数科
- <特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
にっこにこ さわやかあいさつ ともだちいっぱいの新里小
(2) 取組内容
①学力の向上
・「わかる できる学び」と「ともに楽しい学び」の充実
(個別最適な学びと協動的な学びの一体化)
・学びの連続性を意識した授業と家庭学習
②豊かな心と規律ある態度の育成
・一人ひとりの子どもを大切にしたい学校づくり
(人権教育・特別支援教育・道徳教育・学級活動の強化)
・自己指導能力の育成「時を守り、場を清め、礼を正す」
③健康教育の推進
・体育科・授業外体育活動の充実
・校内環境美化の推進
(3) 成果
○担任が児童個々の学習状況を考慮しながら1年間指導できる土台づくり
○自己肯定感・自己有用感を育む活動の充実

花栗南小学校

創立年月日 昭和47年4月1日
学級数 20学級 校長 小林 和美
生徒数 514人 教頭 早野 裕之



- <教育目標>
考える子 思いやりのある子 体をきたえる子
- <研究主題>
学びを深め、互いに協力し、挑戦し続ける子どもの育成
～探究力・発信力の向上を目指して～
- <重点教科等>
生活科・総合的な学習の時間
- <特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
あいさつじまん どくしょじまん そうじじまん
(2) 取組内容
①一人ひとりの個に応じた教育の推進と確かな学力と生きる力の育成
・学びは子どもの夢と希望の中核
②心潤う生徒指導による豊かな心の育成
・一人ひとりが「かけがえない存在」
③人権を大切に教育の推進
・自然に笑顔になれること・人も自分も幸せであること
・夢や希望がある未来があること
④体育的活動の充実と体力の向上の推進
・児童一人ひとりの課題に応じた取組に重点を置き、総合的な体力の向上を図る
⑤安全・安心で美しく潤いのある教育環境の整備
・命、安全を守るため、安全管理や指導の徹底を図る。
⑥地域との連携の強い本校の特色を継承した、地域から愛され信頼を深める特色ある学校づくりの推進
・家庭・地域・関係機関等と一体となった教育を推進する。
(3) 成果
○花栗中学校区の学校の連携を充実させたことで、幼保小中を一貫した教育体制の整備及び児童の自己肯定感が育成された。
○地域の方と一緒に取り組んでいる朝のあいさつ運動等により、さわやかなあいさつが定着している。
○地域の方々の協力により手話校歌をつくり、児童に浸透している。
○家庭・学校・地域が一体となった教育を推進し、児童の生きる力の育成が図られた。

八幡小学校

創立年月日 昭和48年4月1日
学級数 24学級 校長 寺本 博美
生徒数 653人 教頭 鈴木 克裕



- <教育目標>
勉強する子 良い子 強い子
- <研究主題>
自分の考えを持ち、ともに学び合う児童の育成
～「わかる・できる・楽しい」と児童が
実感できる授業を通して～
- <重点教科等>
算数・特別活動
- <特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
子どもたちがよさや可能性を発揮できる八幡小
(2) 取組内容
①「やる気で勉強」
・個に応じた教育の推進と確かな学力の育成
・GIGAスクール構想の推進
・地域に誇れる学校づくり
②「はっきりあいさつ」
・心潤う生徒指導による豊かな心の育成
・人権を大切に教育の推進
③「たくさん運動」
・体的活動の充実と体力の向上
・教育活動継続のための健康管理
・安全安心で美しく潤いのある教育環境の整備
④「生きる力を共に教える学校・家庭・地域の絆」
・PTAとの連携・地域連携・世代間交流・異校種間の連携
(3) 成果
○令和5年度川柳中学校区の研究発表に連携して取り組んだことにより、児童の自己肯定感や自己有用感の伸びが見られた。
○年間50冊以上の読書量や学校全体で取り組んでいるビブリオバトル、図書委員会を中心とした読書活動など、さらに読書に親しむ児童が多く見られるようになった。
○長年地域を見守り続けていただいた、スクールガードリーダーとみはるくんのシラコバト賞、市政功労賞の受賞と地域との連携の強さが見られた。

新栄小学校

創立年月日 昭和49年4月1日
学級数 14学級 校長 野村 真一
児童数 368人 教頭 鈴木 孝夫



- <教育目標>
なかよく かしくく たくましく
- <研究主題>
主体的に学びに向かうための授業改善
動く～教室を『客席』から『舞台』へ～
- <重点教科等>
全教科
- <特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
笑顔いっぱい 瞳輝く 新栄っ子
- (2) 取組内容
- ① 確かな学力を育む教育の推進
 - ・ 全員参加型の対話的な学習活動の推進
 - ・ 読書活動の充実 (年間35冊以上の取組)
 - ・ タブレット型PCの活用による授業改善
 - ② 豊かな人間性とコミュニケーション力を育む教育の推進
 - ・ あいさつ運動の充実
 - ・ 多様な体験活動を通じた豊かな心の育成
 - ・ 花いっぱい活動(植栽ボランティア)
 - ③ 体力向上・健康教育の継続
 - ・ 目標を持ち、最後までやり抜く児童の育成
 - ・ むし歯治療、「早寝・早起き・朝ごはん」の啓発
- (3) 成果
- 学校行事や授業公開の実施に対して、保護者や地域の方々から高評価を得ている。
 - 新栄中学校区統一の取組により、家庭で学習・生活習慣がより定着してきている。

清門小学校

創立年月日 昭和51年4月1日
学級数 28学級 校長 奥村 勇
児童数 756人 教頭 磯川 剛



- <教育目標>
なかよく かしくく たくましく
- <研究主題>
夢や希望をもち、学び続ける子どもの育成
～自己肯定感・自己有用感・他者理解を育む学級活動の工夫～
- <重点教科等>
特別活動
- <特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
『勢い』と『潤い』のある『カラフルな』清門小
- (2) 取組内容
- ① 「生きる力」のもとになる「徳・知・体」を育成する清門小
 - ・ 全教育活動における道徳教育・人権教育・特別支援教育の推進
 - ・ 草加っ子の学びを支える授業の5か条の定着
 - ・ 清門小スタンダードの定着
 - ・ さわやかタイムによる継続的な体力向上
 - ② 「安心・安全な清門小」
 - ・ 児童の姿が見える校内掲示
 - ・ 学校安全の日 通学路・不審者・地震等対応
 - ③ 「家庭・地域とともにある清門小」
 - ・ 学校運営協議会との連携・協働
 - ・ 家庭学習チャレンジ週間の推進
 - ・ 「親子読書デー」の取組
 - ・ 「ノーテレビ・ノーゲーム・ノースマホデー」の取組
- (3) 成果
- 一人一人の児童に寄り添い、個に応じた指導をすることにより、学習意欲を高めることができた。
 - 特別活動の研究を深め、児童の自己有用感を高めることができた。
 - 地域・家庭・学校が一体となった教育活動が実施できた。

稲荷小学校

創立年月日 昭和52年4月1日
学級数 19学級 校長 平野 修
児童数 452人 教頭 伊藤 真由美



- <教育目標>
自ら学び 心豊かに たくましく
- <研究主題>
自ら学び、共に高め合う子の育成
～教員自身の個別最適な学びと協働的な学びを通して～
- <重点教科等>
全教科
- <特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
花さく 夢さく 笑顔さく 明日への希望 いなりっ子
- (2) 取組内容
- 児童一人ひとりを大切にする教育の推進
 - ① 学習指導の充実
 - ② 生徒指導の充実
 - ③ 豊かな心と体力づくりの充実
 - ④ 安心・安全な教育環境の整備・充実
 - ⑤ 家庭・地域に根ざした教育の充実 ⑥ 学年・学級経営の充実
 - 本年度の重点課題：子供と向き合う学校づくり
 - ① 児童の学力向上
 - ・ 校内研修の充実・活性化
 - ・ 各学力・学習状況調査の検証と改善
 - ・ 松江中学校区幼保小中一貫教育研究の継承 など
 - ② 生徒指導の充実
 - ・ 根拠のある「自己肯定感・自己有用感・他者理解」の育成
 - ・ 「いじめを絶対に許さない！見逃さない！」強い意志
 - ・ 問題への素早い初期対応、丁寧な見守り など
 - ③ 教職員の「働き方改革」の推進
 - ・ 定時退勤を促進する取組
 - ・ 効率的・効果的な仕事の進め方の推奨
 - ・ 「業務改善提案制度」の実施 など
- (3) 成果
- 校内授業研究会を回数、内容ともに充実させたことによって、教員の主体的・対話的で深い学びへの理解が深まり、教員各自の専門性を向上させることができた。
 - 学級経営研修会を複数回実施することによって、教員のカウンセリングスキルの向上や学級経営上の課題の共有ができた。

氷川小学校

創立年月日 昭和52年4月1日
学級数 24学級 校長 中田 順一
児童数 553人 教頭 高橋 康子



- <教育目標>
「学びあい 助けあって 自分を高める」
- <研究主題>
「共に学び合い 認め合い 高め合う 子どもの育成
～自己肯定感・自己有用感の育成を柱として～」
- <重点教科等>
特別活動
- <特色ある学校づくりへの取組>
(1) 目指す学校像
「潤いと響き 子どもたち一人ひとりを大切にするあたたかな学校」
 - ・ 子どもが伸びる学校
 - ・ 子どもが生き生きと活動する学校
 - ・ 保護者・地域と共に歩む学校
 - ・ 教育環境を大切にする学校
- (2) 本年度の重点取組
- ① 子どもたちの学力向上
 - ・ 全国学調、埼玉県学調、草加市学調の結果分析と指導方法の工夫・改善
 - ② 子どもたちの自己肯定感・自己有用感の向上
 - ・ 令和5・6年度草加市教育委員会委嘱谷塚中学校区「幼保小中一貫教育研究」の充実
 - ・ 「お子様の『自己肯定感』と『自己有用感』を高めるために」の配布
 - ③ 家庭・地域社会との連携・協力
 - ・ 「よくわかる！氷川小学校」の配布
 - ・ 「ひかわっ子・共有プラン」の配布
 - ・ 学校ホームページの毎日更新
 - ④ 外部人材を活用した授業実践
 - ⑤ 教職員の「働き方改革」・負担軽減の推進
 - ・ 「氷川小 組織経営計画」と「氷川小 働き方改革グランドデザイン」の推進
- (3) 成果
- 学校ホームページの毎日更新等により、学校の教育活動の様子を家庭・地域にこまめにお知らせすることができた。
 - 令和5・6年度草加市教育委員会委嘱谷塚中学校区「幼保小中一貫教育研究」において、特別活動の「学級会」を中心に、児童の「自己肯定感」と「自己有用感」を高めるための効果的な指導方法について研究を深めることができた。

八幡北小学校

創立年月日 昭和54年4月1日
 学級数 16学級 校長 春日 和久
 児童数 411人 教頭 飯塚 智広



<教育目標>
 なかよく(徳) かしく(知) たくましく(体)
 <研究主題>
 子どもたちの互いのよさを発揮し、可能性を広げる特別活動
 ～自己肯定感・自己有用感・他者理解力を育むために～
 <重点教科等>
 特別活動
 <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 共につくる一人ひとりの笑顔あふれる八幡北小学校
 (2) 取組内容
 【徳】①自己肯定感・自己有用感の育成
 ②特別活動の充実
 ・学級活動・児童会活動を通した人間活動を築く力、自治的能力の育成
 ・学校行事を通した児童の育成
 ③道徳教育の充実
 ・個性の伸長 ・親切、思いやり ・相互理解、寛容
 ・友情、信頼 ・よりよい学校生活、集団生活の充実
 ④人権教育の推進
 ・多様性への理解
 【知】①主体的・対話的で深い学び
 ・探求・対話・協働 ・ICTの活用
 ②カリキュラム・マネジメント
 ③総合的な学習の時間の充実
 ④読書活動・読み聞かせ
 ⑤各種学習状況調査の分析・活用 ・北っ子タイム・算数タイム
 【体】①自分の生命を守り育てる
 ・心身の健康 ・安全教育
 ②基本的な生活習慣の確立
 ・早寝早起き朝ごはん ・食育
 ③豊かなスポーツライフ
 ・運動への多様な関わり
 (3) 成果
 ○全教員による諸調査の分析と、段階的な教科担任制に取り組んだことで、教育活動の改善と教育課程全体の質の向上が図れた。
 ○地域の積極的な協力があり、登下校見守りや生活科の学習などを通じて、地域との交流を深めることができた。

長栄小学校

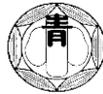
創立年月日 昭和55年4月1日
 学級数 20学級 校長 川村 亜希子
 生徒数 456人 教頭 畔上 賀津夫



<教育目標>
 よく考える子 思いやりのある子 たくましい子
 <研究主題>
 誰もが幸福感を感じることのできる教育環境
 ～学校ウェルビーイングをめざして～
 <重点教科等>
 全教科
 <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 かがやく笑顔 みんなが誇れる長栄小
 (2) 取組内容
 ①「生きる力」の理念に基づく徳・知・体の総合的な育成
 ・豊かな人間性の育成(道徳的実践力)
 ・確かな学力の育成(考える習慣、学力の素地づくり)
 ・健康・体力の保持増進(生命の尊重・健康教育・食育・安全と体力向上)
 ②幼保小中を一貫した教育課程
 ・新田中15歳の姿の具現化に向けたカリキュラムの試行
 ・教科担任制の実施
 ③『主体的・対話的で深い学び』の実現
 ・自己の変容の気付き、見通しとふりかえりのある授業実践
 ・個別最適な学び、ICTの効果的な活用
 ④特別ではない特別支援教育
 ・就学相談の充実
 ・教育相談の充実(SSW、SCの活用)
 (3) 成果
 ○学力向上プランを見直し、長栄小学校授業のスタンダードを確立したことで、学力の向上が見られた。
 ○組織的な生徒指導を行い、思いやりのある児童の育成を進めることができた。

青柳小学校

創立年月日 昭和57年4月1日
 学級数 14学級 校長 須賀 由美
 生徒数 359人 教頭 関 敬之



<教育目標>
 あ：明るく元気な子 お：思いやりのある子
 や：やりとげると ぎ：きたえる子
 <研究主題>
 進んで読むことに親しみ、思いや考えを表現する児童の育成
 <重点教科等>
 国語科
 <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 笑顔で登校 明日を楽しみに下校する青柳小学校
 【笑顔が一番】
 ～地域と共に歩む、児童一人ひとりの笑顔を大切にしたい信頼される学校～
 (2) 取組内容
 ①学力向上(やりとげると)
 ・専科教員による専門性の高い教科指導の実施
 ・高学年一部教科担任制による指導の実施
 ・国語タイム、算数タイム、読書タイムの年間実施
 ②体力向上(きたえる子)
 ・校内実技研修会等の実施による教員の指導力向上
 ・やぎっ子タイム(ロング昼休み)を活用した外遊びの奨励
 ③豊かな心(思いやりのある子)
 ・道徳教育の充実 ・特別支援教育の推進
 ・規律ある態度の育成 ・特別活動の充実
 (3) 成果
 ○「わかる・できる・楽しい」授業を展開することにより、教員の指導力向上及び児童の学力向上が少しずつ見られた。
 ○「振り返り」を重視した授業を実施することで、次時の学習への興味・関心が高まることにつながった。
 ○幼保小中を一貫とした教育の取組や学校運営協議会の実施により、学校・家庭・地域が一体となった教育を推進することができた。

小山小学校

創立年月日 昭和57年4月1日
 学級数 17学級 校長 土屋 貴一
 児童数 425人 教頭 森 太郎



<教育目標>
 進んで学ぶ子 体をきたえる子 思いやりのある子 ねばり強い子
 <研究主題>
 自ら学びに向かう子どもの育成 ～学力の向上を目指して～
 <重点教科等>
 算数 特別の教科 道徳
 <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 「笑顔いっぱい」の夢ふくらむ学校 ～地域と共に～
 笑顔で登校 明日も行きたくなる学校
 (2) 取組内容
 ①進んで学ぶ子
 ・授業5か条の定着 ・挨拶、返事、姿勢(腰立て)
 ・授業の約束の指導徹底 ・外国語教育の充実
 ・読書活動の充実 ・ICTを活用した授業づくりの充実
 ・はなまる学習コーナーの充実
 ②体をきたえる子
 ・走力、跳力の向上 ・運動量豊富な体育授業の実践
 ・外遊びの励行 ・早寝早起き朝ごはんの励行
 ・学校保健、食育指導の充実
 ③思いやりのある子
 ・道徳教育の発展・深化 ・ハートの日の活用
 ・いじめ防止基本方針の推進 ・言語指導の充実
 ・ていねいな言葉づかい
 ・スマイルタイム(学級力向上)の充実
 ④ねばり強い子
 ・日常的な成功体験の推進 ・5つの「します」の徹底指導
 ・勇気づけ、見届けの徹底 ・児童理解と個に応じた支援
 ・あたたかい言葉かけ
 (3) 成果
 ○埼玉県学力学習状況調査の結果から非認知能力の向上や学力を伸ばした児童の割合の高まりが見られた。
 ○リフレーミングやスマイルアクションの掲示物の作成により、支持的な学級風土の醸成へとつながることができた。

両新田小学校

創立年月日 昭和57年4月1日
学級数 19学級 校長 帆玉 敬一
児童数 454人 教頭 撰 郁子



<学校教育目標>

進んで学ぶ子 やさしい子 たくましい子

<研究主題>

自ら学び 心豊かに たくましく生きる児童・生徒の育成
～「わかる・できる」学びと「ともに楽しい」学びの創造～

<重点教科等>

国語科 特別活動

<特色ある学校づくりへの取組>

(1) スローガン

学ぶ子われら 光る子われら 笑顔かがやけ 両新田小

(2) 取組内容

①学習指導の充実

- ・国語科における基礎基本の定着を目指した授業改善
- ・「協働的な学習」「個別最適な学び」の推進
- ・授業規律の確立 ・ICT機器を有効活用した授業実践

②幼保小中を一貫した教育の推進

- ・目指す子ども像の共有・実現 ・自己肯定感・自己有用感の育成
- ・乗り入れ授業の充実

③安全・安心で開かれた学校づくり

- ・家庭・地域・関係機関との連携の充実
- ・HPの有効活用

④生徒指導・教育相談

- ・特別支援教育の充実・積極的・組織的な生徒指導
- ・教育相談の充実（スクールカウンセラーや関係機関との連携）
- ・問題行動、いじめの未然防止、早期発見・早期対応

⑤豊かな心の育成

- ・道徳教育の充実、人権教育の充実、特別活動の充実
- ・話し合い活動の充実（意見を出し合ったり比べ合ったりする力の育成）
- ・「優しい言葉」「温かい言葉」での交流の推進

⑥健康でたくましい児童の育成

- ・体育科授業と体育的諸活動の工夫と充実
- ・歯磨き指導の充実（フッ化物洗口の実施）

(3) 成果

- 両新田中学校区における一貫教育の推進が行われている。
- その結果、自己肯定感・自己有用感を高め授業や自主学習に積極的に取り組む児童が増えた。

松原小学校

創立年月日 平成21年4月1日
学級数 19学級 校長 佐藤 勇
生徒数 457人 教頭 山本 武



<教育目標>

心身ともに健康で自ら学ぶ子

<研究主題>

互いに学び合い、認め合い、高め合う子どもの育成
～自己肯定感を高め、自己有用感を実感できる学びの充実を通して～

<重点教科等>

国語科、算数科、特別の教科 道徳

<特色ある学校づくりへの取組>

(1) キャッチフレーズ

やさしさと 笑顔でつなぐ 松原っ子

(2) 取組内容

①学習活動の充実

- ・「自分の考えを持つ・伝える」「コミュニケーションを行う」
- 「他者と協力する」能力・態度の育成

②健康な体づくりの推進

- ・業間休みでの外遊び、ロング昼休み等、外遊びの時間の確保

③季節や自然を感じる俳句づくり

- ・四季の移り変わりや日常生活の中の景色の美しさを感じる
- 俳句づくりの取り組み

④豊かな心の育成

- ・自己肯定感、自己有用感、他者理解の育成

⑤幼保小中を一貫した教育の推進

- ・15年間の教育活動の意図的、計画的、組織的な推進

(3) 成果

- 授業の中で児童が表現する場面と交流する場面を設けることで、互いに高め合い、認め合える児童を育成することができた。